

阪南中学校だより

NO. 9

令和8年9月4日（金）

発行：大阪市立阪南中学校長 中西 洋

探求（たんきゅう）的な学びに取り組む2年生！

阪南中学校では、昨年度からキャリア教育の一環として、2年生で探究的な学びの実践に取り組んでいます。ワクワク地域共創委員会（中小企業同友会：近隣の企業経営者団体）の皆様にも全面的なご協力をいただき、各学級で班ごとに、生徒たちが会社経営者（起業家）の立場で『困りごとからビジネスを生み出す』をテーマに、ご参加いただいた実際の会社経営者（起業家）のみなさんと一緒になって、ビジネスプランの完成を目指します。今後、生徒たちは、具体的にビジネスアイデアのプレゼンテーションを作成し、起業家のみなさんの前で、高い評価の獲得を競います。

特集！ 令和8年度全国学力・学習状況調査 生徒質問紙調査から①

本年度4月21日（火）、3年生を対象に英語（3技能）、23日（木）に国語・数学・生徒質問紙が実施されました全国学力・学習状況調査の結果が届きました。その調査の中の生徒質問紙調査の結果から、本校生徒の様子等を報告させていただきます。

（3年生の個々の調査結果については、8月28日（金）に返却いたしました。）

○全国平均値・大阪府平均値と阪南中学校平均値を比較して

《「そう思う（当てはまる）」、「どちらかといえばそう思う（当てはまる）」等の肯定的なデータの割合から平均値を比較しました》

【自尊感情にかかわる項目】

◇規範意識について

全国より高い ↑↑ （全国より良い値を示す項目）	自分には、よいところがあると思いますか。 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。 人が困っているときに、進んで助けていますか。 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。 学校に行くのは楽しいと思いますか。 友達関係に満足していますか。 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。
大阪府より高い ↑ （大阪府より良い値を示す項目）	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
全国・大阪府より低い	将来の夢や目標を持っていますか。

「自分には、よいところがあると思いますか。」「人が困っている時に進んで助けていますか。」というような生徒の自尊感情（自己有用感・自己肯定感）を問う項目について、

→裏面に続く

今年も高い値を示し、しっかり自信をもって行動できる阪南中の生徒の特色が現れています。また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれると思いますか。」「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」「先生は、間違ったところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。」という項目について、本年度も高い値を示しています。生徒を支えることを重点課題として取り組んだ成果だと考えています。「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。」というような、自他との関係の調整力を問う項目についても高い値を示し、昨年度に続き、対話的授業への取り組みも年々進み、しっかりコミュニケーションできる生徒の傾向が強く表れていると思います。「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。」というような幸福感（ウェルビーイング）を問う新しい質問項目についても、高い値を示しています。生徒たちが、学力（生きる力）をしっかり身につけるためにも、意欲（自信）をもって、何事にも臨むことのできる力の源が自尊感情になります。引き続き、阪南中学校では、文科省や市教委の示す課題についても取り組みを継続し、しっかりと生徒を支え、より良い集団づくりを目指し、生徒一人ひとりの学習意欲の向上に結び付け、阪南中学校全体の学力の向上に繋げていきたいと考えています。

【生活について】

◇家庭生活について

全国より高い ↑ ↑ (全国より良い値を示す項目)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。 新聞を読んでいますか（週に1～3回）。 学校の勉強のことについて、親や家族は、どのくらいあなたと話しますか。 1日当たり、スマホ等でSNSや動画視聴などをしますか(2時間以上)。
大阪府より高い ↑ (大阪府より良い値を示す項目)	朝食を毎日食べていますか。 学校での悩みについて、親や家族は、どれくらいあなたと話をしますか。
全国・大阪府より低い	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

本年度は「新聞を読んでいますか。」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。」の項目について高い値を示しています。「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。」の項目について、昨年度は高い値を示しましたが、本年度は高くありませんでした。生徒による地域への働きかけ（協力）をさらにサポートできる方法を工夫する必要があると考えます。さらに、「毎日、同じくらいの時刻に寝ている。」等の規則正しい生活にかかわる項目で高い値を示していなかったことや「1日当たり、スマホ等でSNSや動画視聴などをしますか(2時間以上)。」の項目でも問われているところですが、昨年同様に、本校の課題である、生徒のスマホ・SNS等の安全な使い方等とも関わり、各ご家庭でのご指導・ご協力をいただきながら、学校としても、続けて適切な生徒への働きかけが必要でだと考えます。引き続き、保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

特集は次々号(NO.11)に続きます。